

令和元年度 北九州空港の利用状況

1 利用者数

令和元年度の利用者数の合計は、前年度比88.5%の1,579,108人となった。

	令和元年度（人）		平成30年度（人）
	利用者数	前年度比	利用者数
利用者数合計	1,579,108	88.5%	1,783,432

(1) 定期便(国内)

国内線全体の利用者数の合計は、1,354,196人で、前年度と比べ76,535人減少した。

	令和元年度（人）				平成30年度（人）		
	利用者数	前年度比	提供座席数	利用率	利用者数	提供座席数	利用率
	（人）		（人）		（人）	（人）	
東京（羽田）	1,258,570	93.7%	1,765,362	71.3%	1,343,138	1,792,096	74.9%
沖縄（那覇）	65,678	101.9%	108,300	60.6%	64,450	111,600	57.8%
静岡 (H31.3.31～ 運航開始)	29,948	18954.4%	57,464	52.1%	158	168	94.0%
名古屋（小牧） (～H31.3.30 運航終了)	—	—	—	—	22,985	54,924	41.8%
合計	1,354,196	94.7%	1,931,126	70.1%	1,430,731	1,958,788	73.0%

(2) 定期便(国際)

国際線全体の利用者数の合計は、221,494人で、前年度と比べ115,041人減少した。

	令和元年度（人）				平成30年度（人）		
	利用者数	前年度比	提供座席数	利用率	利用者数	提供座席数	利用率
	（人）		（人）		（人）	（人）	
大連 (R1.8.17 就航 R2.2.8 運休)	12,013	63.9%	23,097	52.0%	18,802	28,124	66.9%
釜山 (R2.3.8 運休)	36,262	43.3%	62,748	57.8%	83,701	114,912	72.8%
ソウル（仁川） (R2.3.8 運休)	83,631	53.0%	137,592	60.8%	157,740	211,302	74.7%
務安 (R1.5.13 運休)	3,966	9.7%	6,804	58.3%	40,703	60,126	67.7%
襄陽 (R2.1.1 運休)	1,980	26.2%	6,959	28.5%	7,568	12,940	58.5%
台北 (R2.3.11 運休)	72,515	258.8%	103,050	70.4%	28,021	46,500	60.3%
大邱 (R1.6.5 就航 R1.9.1 運休)	11,127	—	31,590	35.2%	—	—	—
合計	221,494	65.8%	371,840	59.6%	336,535	473,904	71.0%

(3)チャーター便・臨時便

国内・国際線の合計で、利用者数は3,418人であった。

令和元年度はグアムや稚内へのチャーター便が実施された。

	令和元年度				平成30年度	
	利用者数 (人)	前年度比	就航便数 (便)	前年度比	利用者数 (人)	就航便数 (便)
国内	1,440	34.6%	14	29.2%	4,159	48
国際	1,978	16.5%	14	7.8%	12,007	180
合計	3,418	21.1%	28	12.3%	16,166	228

【今後の取組み】

- ・基幹路線である、東京路線をはじめとする国内線の集客を図る。
- ・中国・大連や韓国(仁川・釜山)を運航する、中国東方航空、ジンエアーの復活を目指す。
- ・利用者数200万人の達成に向けて、福岡県とも連携して利用促進に努める。

2 貨物取扱量

令和元年度の実績は9,255トンで、前年度と比べ、4.8%増加した。

	令和元年度 (t)		平成30年度 (t)
		前年度比	
貨物取扱量合計	9,255	104.8%	8,830

※令和元年11月に大韓航空による仁川を経由した国際貨物定期便が就航。

	令和元年度 (t)		平成30年度 (t)
		前年度比	
国内	3,718	88.6%	4,197
国際	5,537	119.5%	4,633

【今後の取組み】

これまで以上に広範囲の集貨や、更なる需要の掘り起こしに取り組み、貨物拠点化の推進に努める。

港湾空港局空港企画課

担当：田原

電話：093-582-2308